

講習の名称：新学習指導要領小中理科はどう改訂されたのか

担当講師：益田 裕充（教育学部教授）

講習開講日：平成 29 年 8 月 24 日（木）

時間数：6 時間

主な受講対象者：小学校教諭，中学校教諭，高等学校教諭など。理科を専門としない教員の方で新学習指導要領改訂のことがもっと具体的に知りたい教員など。

キーワード：新学習指導要領,見方・考え方を働かせて,理科

講習の概要：

新学習指導要領小中理科の改訂事項について詳細に解説します。資質・能力を育成する理科授業はこれからどう求められるのか。デザインベース研究の観点から「探究の過程（問題解決の過程）」の重点化をキーワードに講義をいたします。目標に横串が指されている新学習指導要領は、ひとつの教科を事例にして改訂の方向を理解できます。特に、理科は、「思考の枠組み」とされる「考え方」としての「授業の過程」が重視されている教科です。いわば、新学習指導要領改訂の理念を先取りしている教科とも言えます。ぜひ、理科を専門としない教員の方にも受講をお勧めいたします。

講習の展開：

- 第 1 時限 見方・考え方を働かせるとはどういうことか
- 第 2 時限 資質・能力を育成するために図られた方策とは何か
- 第 3 時限 思考力等の育成を学習過程の関係（構造）でとらえるとは
- 第 4 時限 グループ討議など

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

平成 29 年 2 月に示された学習指導要領（案）をあらかじめご一読いただきますよう、お願いいたします。

受講者の皆様のお考えについても討論・発表をしていただきますので、積極的に発言していただけますよう、ご準備ください。

授業の形式： 講義および、討論・発表

履修認定試験： 論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

◎テキストは使用いたしません。

◎参考文献

益田 裕充 著 『理科指導の研究 改訂版』 上毛新聞社 2014